

令和8年度(2026)

福井工業大学^(学部)_(大学院工学研究科)

入学試験要項

私費外国人留学生選抜

- 工学部
- 環境学部
- 経営情報学部
- スポーツ健康科学部

私費外国人留学生推薦選抜

- 大学院



福井工業大学

Fukui University of Technology

■学部入学試験要項

P1 ～ P12

■大学院工学研究科入学試験要項

P13 ～ P35

個人情報の取り扱いについて

本学では入試業務を遂行するにあたり、志願者より取得した個人情報（保護者等を含む）は、次の利用目的のみに使用し、細心の注意を払って管理いたします。

ただし、保護者等の情報については、選考資料には利用しません。

- 利用目的
1. 入学試験(志願から入学まで)における各種連絡および選抜のため。
 2. 入学後の修学関係・学籍関係・進路関係・学生生活関係およびその連絡のため。
 3. その他本学の教育・研究・学生支援に必要な業務のため。

安全保障輸出管理について

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「福井工業大学 安全保障輸出管理規程」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から外国人留学生の受入については厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や教育が受けられない場合がありますので、願書出願の前に指導教員予定者と相談するなど、出願にあたっては注意してください。なお、外国人留学生（大学院博士前期課程および博士後期課程のみ）の方は、入学手続時に「外国為替及び外国貿易法」を順守する誓約書に署名していただきます。

令和8年度(2026)

福井工業大学

私費外国人留学生選抜 入学試験要項

- 工 学 部
- 環境学部
- 経営情報学部
- スポーツ健康科学部

金井 学園 建学の精神

悠久なる日本民族の歴史と

伝統とに根ざした愛国心を培

節義を重んずる人格の育成

科学技術の研究に努め以て

人類社会の福祉に貢献する

福井工業大学学部 私費外国人留学生選抜

目 次

学科別アドミッション・ポリシー	2
試験概要	4
募集学部・募集人員	
出願資格	
選考方法	
試験日程	
試験時間割	
試験会場	
出願手続	6
出願書類	
入学検定料	
出願上の注意	
受験上の注意	8
試験室の入退室	
その他	
合格発表	8
合格発表日	
発表方法	
入学手続	9
入学手続方法	
入学手続の必要書類	
入学手続締切日	
入学手続の注意事項	
納 入 金	10
初年度（工学部・環境学部・経営情報学部）（スポーツ健康科学部）	
学費減免奨学金	
私費外国人留学生に関する奨学金制度	11
私費外国人留学生奨学金	
私費外国人留学生生活奨学金	
お問い合わせ先	11
地方試験会場案内図	12
出願手続提出書類	
・ 入学志願票	
・ 受験票・写真票・副票	
・ 履歴書	
・ 経費支弁書	
・ アンケート用紙	

学科別アドミッション・ポリシー

福井工業大学(以下、「本学」という。)は、学校法人金井学園(以下、「本学園」という。)[建学の精神]に基づき、学部・学科のディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)に定めた学修目標と人材育成を達成できる潜在的な能力を有した学生を求めて、以下の通り、学科毎にアドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)を定めています。この方針にふさわしい人材を受け入れるために、本学では各種総合型選抜、各種学校推薦型選抜、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜などの複数の選抜方式をとっています。これらの選抜によって多様な学生を受け入れ、本学の特色ある教育研究を通して、持続可能な社会の発展に主体的かつ能動的に貢献することのできる豊かな人間性と創造性および高い倫理観を兼ね備えた人材を育成します。

工学部

電気電子情報工学科

現代社会は、電気・電子・情報・通信分野などの基幹技術によって支えられています。これらの分野では、環境を考えたエネルギー技術の開発に加え、製造現場や生活者を補助するロボットのように機器やシステムを制御するための情報処理技術の開発など今日的課題への対応も求められています。電気電子情報工学科では、電気・電子・情報分野の基礎学力を十分に身に付けた上で、広い分野で活躍するために必要となる実践的な能力を養います。また、幅広い分野のニーズに応えるコースと、より深い専門能力と創造力の向上を志向するコースを設け、電気・電子・情報分野に関連するプロジェクトを活用することで、実践的な技術者を育成します。

そのため、本学科では次のような人を求めています。

- (AP1) 本学科の修学に必要な基礎学力(特に数学、物理)と基本的な学習スキル(文章や図表を理解する、ノートやメモを取る、自ら調べる)を備えている。〔知識・理解〕
- (AP2) 電気や電子が関連して生じる現象や事象について、調べた情報や結果を基に自分なりの考えを持つことができる。〔思考・判断〕
- (AP3) 電気・電子・情報・通信工学に関心があり、将来その分野の技術者として国内外で活躍し、社会に貢献したいという意欲を持っている。〔関心・意欲〕
- (AP4) 電気・電子・情報分野に関連するプロジェクトなどの課外活動にも主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕
- (AP5) 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

機械工学科

機械工学は、我が国が得意とする「ものづくり」の基盤となる学問分野です。人々が安全で快適な生活を営む上で必要となる様々な製品には、機械分野の技術が深く関わっています。機械分野では、「ものづくり」に必要な幅広い専門知識と技術、自ら進んで課題に取り組み解決していく能力、社会に役立つ製品や技術を生み出す創造力、ならびに技術者として国際社会や地域社会で活躍できる責任感と倫理観を兼ね備えた人材が求められています。機械工学科では、機械工学の知識や技術を基盤に福祉・医療用機器やロボットなどを含む各種産業・運輸用機械・設備など、幅広い分野で活躍できる実践的な技術者を育成します。また、機械工学を基礎としながら、自動車整備士の国家資格取得を目指すとともに、自動車関連の分野で活躍できる技術者も育成します。

そのため、本学科では次のような人を求めています。

- (AP1) 本学科の修学に必要な基礎学力(特に数学、物理)と基本的な学習スキル(文章や図表を理解する、ノートやメモを取る、自ら調べる)を備えている。〔知識・理解〕
- (AP2) 機械や装置のメカニズムに興味があり、その動作から機械や装置の仕組みについて自分なりの考えを持つことができる。〔思考・判断〕
- (AP3) 「ものづくり」に関心があり、新しいものを自ら作り出したいという意欲と機械技術者として国内外で活躍したいという希望を持っている。〔関心・意欲〕
- (AP4) チャレンジ精神を有し、自ら課題を見つけ、その解決のために粘り強く主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕
- (AP5) 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

建築土木工学科

建築および土木は、人々の安全・安心・快適な生活環境を支えるために欠かすことのできない技術分野です。建築土木工学科では、建築系と土木系を専門とする2つのコースを設けています。建築系では、設計法、建築計画、構造、材料、環境設備などの専門技術を修得し、将来、建築士として魅力的な居住空間、都市空間を創出できる人材を育成します。土木系では、安全・安心で豊かな都市環境、国土の創出および社会基盤の整備・維持管理に必要な専門的土木技術を修得し、自然環境と共生しながら持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成します。

そのため、本学科では次のような人を求めています。

- (AP1) 本学科の修学に必要な基礎学力(特に数学的思考力)と基本的な学習スキル(文章や図表を理解する、ノートやメモを取る、自ら調べる)を備えている。〔知識・理解〕
- (AP2) 建築・土木分野の知識・技術に興味があり、これまで造られてきた建築物や土木構造物に対して自分なりの考えを持っている。〔思考・判断〕
- (AP3) 建築・土木分野の「ものづくり」に関心があり、将来その分野の技術者として、地域社会および国内外で活躍したいという意欲を持っている。〔関心・意欲〕
- (AP4) 建築や土木に関連するプロジェクトなどの課外活動にも積極的に参加し、課題の発見と解決に向けて粘り強く主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕
- (AP5) 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

原子力技術応用工学科

原子力は、電気工学や機械工学など多くの工学が融合した「総合工学」と言われています。その応用は様々な分野に広がり、ロボット、遠隔操作、免震、水処理をはじめとする多くの技術革新につながっています。原子力技術応用工学科では、高い倫理観と原子力の専門知識を身に付け、次世代原子力技術の発展に貢献できる人材を育成します。また、医療器具の滅菌やがんの治療、材料の非破壊検査、ゴムやプラスチックの製造など、医療・工業・農業分野で幅広く利用されている放射線の専門知識および技術を修得し、国内外で活躍できる人材を育成します。

そのため、本学科では次のような人を求めています。

- (AP1) 本学科の修学に必要な基礎学力(特に数学、物理)と基本的な学習スキル(文章や図表を理解する、ノートやメモを取る、自ら調べる)を備えている。〔知識・理解〕
- (AP2) 原子力や放射線の応用について、調べた情報や結果を基に自分なりの考えを持つことができる。〔思考・判断〕
- (AP3) 原子力や放射線に関心があり、将来その分野の技術者として国内外で活躍し、社会に貢献したいという意欲を持っている。〔関心・意欲〕
- (AP4) 原子力技術や放射線利用の発展に向け、現時点で自らができていることに粘り強く主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕
- (AP5) 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

環境食品応用化学科

地球規模での環境問題や異常気象による食糧危機が懸念されており、将来にわたって誰もが安心して暮らせる社会の構築が求められています。環境食品応用化学科では、安全・安心で持続可能な社会の構築に貢献するために、化学・生物学の基礎教育、および環境・食品の専門教育とそれらの最先端研究を行っています。それらを通して科学技術の幅広い知識と確かな応用力を身に付け、環境や食品の重要課題の解決・改善に取り組むことのできる人材を育成します。

そのため、本学科では次のような人を求めています。

- (AP1) 本学科の修学に必要な基礎学力(化学あるいは生物)と基本的な学習スキル(文章や図表を理解する、ノートやメモを取る、自ら調べる)を備えている。〔知識・理解〕
- (AP2) 環境汚染や食糧危機がもたらす影響について情報を整理し、自分なりの考えを持つことができる。〔思考・判断〕
- (AP3) 環境や食品の課題に関心を持ち、将来その解決・改善に取り組みたいという意欲を持っている。〔関心・意欲〕
- (AP4) 本学科が関係するプロジェクトやボランティアなどの課外活動にも主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕
- (AP5) 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

デザイン学科

21世紀の生活環境を考える上で、デザインが果たす役割はますます重要になっています。デザインとは単に美しい作品を生み出すだけではなく、生活のあるべき姿を構想し、それを効果的な方法で表現することです。デザイン学科では、「都市・地域の環境形成やコミュニティのあり方」「住宅・各種施設・インテリアなどの生活空間」「家具・生活用品など身近な商品の意匠とブランディング」「雑誌・広告・ロゴマーク・ポスター・Web・映像などの目に見える情報メディア」等のデザインに関する学びを通して、美しく快適な生活環境を創造するデザイナーやデザインに関わる専門家を育成します。

そのため、本学科では次のような人を求めています。

- (AP1) デザインに対する知的好奇心と本学科の学びに必要な基礎学力(分野・教科を問わない)を備えている。〔知識・理解〕
- (AP2) 「デザインの力」について、自らの手足と頭を使って調べた情報や結果を基に自分なりの考えを持つことができる。〔思考・判断〕
- (AP3) 人と社会の未来に関心があり、新しい価値観の提案や豊かで美しく快適な生活環境の創造に意欲を持っている。〔関心・意欲〕
- (AP4) 他者の意見に耳を傾け、幅広い価値観を理解することができ、自らの考えを他者に伝えるコミュニケーションを楽しむことができる。〔態度〕
- (AP5) 自らの感動をことば、絵、身体で表現したいという意欲やみんなと一緒に何かを生み出したいという思いを持っている。〔技能・表現〕

経営情報学科

今日の高度情報社会を取り巻く環境は情報通信技術の進歩で大きく変わろうとしています。特に、大容量・高速化されたネットワークは世界中のモノにつながり、それらから得られるデータは急激に増加しています。集められた膨大なデータの分析にはAIが不可欠であるため、今後、AIを用いたデータ分析を通じて地域社会、経営・経済における様々な問題を解決できる人材が求められています。経営情報学科では、データサイエンスの知識に加え、経営や経済、グローバルな環境問題や社会サービスに至る広範な知識を身につけ、これらの知識を活用して、社会問題の本質を探り、単一の視点からだけでは解決できない問題について、その解決策を提言できる人材を育成します。

そのため、本学科では次のような人を求めています。

- (AP1) データサイエンス・ICT、企業経営、経済に対する知的好奇心と本学科の修学に必要な基礎学力を備えている。〔知識・理解〕
- (AP2) 高度情報社会におけるプラスとマイナスの両面について情報を整理し、自分なりの考えをもつことができる。〔思考・判断〕
- (AP3) 社会から歓迎されるデータサイエンティスト、およびデータ活用を推進する企業人、政策担当者として、国内外を問わず社会に幅広く貢献したいという意欲と向上心を持っている。〔関心・意欲〕
- (AP4) 本学科が関係するプロジェクトやボランティアなどの課外活動にも主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕
- (AP5) 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

スポーツ健康科学科

アスリートのみならず、高齢化社会への対応、健康づくり志向、地域振興など、現代社会ではスポーツへの関心が高まっています。スポーツ健康科学は、科学的視点からスポーツと健康を捉え、総合的・学際的な研究と教育を行う学問分野であり、工学的な知識や視点、情報処理技術など総合力も必要とされています。スポーツ健康科学科では、スポーツ健康科学の理論・技術を修得し、生涯にわたって多様な形でスポーツ・健康産業や関連組織に貢献できる人材を育成します。また、健康運動実践指導者や競技スポーツ指導者など、地域の運動・スポーツ指導の中心的存在となり、ライフステージや対象ごとの目標に応じた健康づくりに寄与する人材を育成します。

そのため、本学科では次のような人を求めています。

- (AP1) 本学科の修学に必要な基礎学力と基本的な学習スキル(文章や図表を理解する、ノートやメモを取る、自ら調べる)を備えている。〔知識・理解〕
- (AP2) スポーツが人の心身の健康に与える効果について、調べた情報や結果を基に自分なりの考えを持つことができる。〔思考・判断〕
- (AP3) スポーツ健康科学の理論・技術を身に付けた指導者・スタッフとして、スポーツや健康関連の分野で貢献したいという意欲を持っている。〔関心・意欲〕
- (AP4) スポーツあるいは健康関連のプロジェクトやボランティアなどの課外活動にも主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕
- (AP5) 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

試 験 概 要

1. 募集学部・募集人員

募集人員：26名

学 部	学 科	コ ー ス
工 学 部	電気電子情報工学科	電気電子コース
		AI情報宇宙コース
	機 械 工 学 科	機械システムコース
		自動車システムコース
	建 築 土 木 工 学 科	建築コース
		土木コース
	原子力技術応用工学科	原子力工学コース
		放射線応用コース
環 境 学 部	環 境 食 品 応 用 化 学 科	環境化学コース
		食品バイオコース
	デ ザ イ ン 学 科	都市デザインコース
		メディアデザインコース
経 営 情 報 学 部	経 営 情 報 学 科	データサイエンスコース
		経営システムコース
スポーツ健康科学部	ス ポー ツ 健 康 科 学 科	スポーツ産業コース
		地域スポーツ指導者コース
		競技スポーツコース

- コースは入学後本人の希望により決定します。
- 自動車システムコースは定員50名です。

2. 出願資格

日本の国籍を有しない者で、次の①～③のすべてに該当し、かつ、日本語で行われる授業が理解できる者。

① 次のいずれかに該当する者

- ア 外国において、学校教育法における12年の課程を修了した者および令和8年3月31日までに修了見込みの者もしくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- イ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を令和6年4月1日から令和8年3月31日までに取得した者および取得見込みの者
- ウ ドイツ連邦共和国各州におけるアビトゥア資格を令和6年4月1日から令和8年3月31日までに取得した者および取得見込みの者
- エ フランス共和国におけるバカロレア資格を令和6年4月1日から令和8年3月31日までに取得した者および取得見込みの者
- オ 外国に所在し外国の教育制度に基づく教育機関において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを修了した者および令和8年3月31日までに修了見込みの者

- ② 出入国管理および難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者
- ③ 独立行政法人日本学生支援機構が実施する令和7年度(2025)日本留学試験(令和7年6月または令和7年11月のいずれか)の本学が指定する次の教科・科目のすべてを受験した者

日本留学試験 受 験 指 定 教 科 ・ 科 目	学 部	学 科	日本語	数学	総合科目	理科			
						物理	化学	生物	
	工 学 部	電気電子情報工学科	○	○ (コース 2)		○			
		機械工学科							
		建築土木工学科							
		原子力技術応用工学科							
	環境学部	環境食品応用化学科		○ (コース1or2)			○ (化学、生物から高得点科目で判定)		
		デザイン学科					○ (総合科目 or 理科から高得点科目で判定 総合科目は100点満点に換算)		
	経営情報学部	経営情報学科							
	スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科							
出 題 言 語									
成 績 利 用									

[注意] 日本の永住許可を得ている者は、この選抜には出願できません。

3. 選考方法

日本留学試験の成績、面接および出願書類により総合的に選考します。

4. 試験日程

	出願期間(締切日消印有効)	試 験 日	合 格 発 表 日
I 期	令和7年10月3日(金)～10月22日(水)	令和7年11月8日(土)	令和7年12月1日(月)
II 期	令和8年1月5日(月)～1月22日(木)	令和8年2月20日(金)	令和8年2月27日(金)

5. 試験時間割

9:30～	9:40～
受験上の注意	面 接 (個人面接形式で行います 1人あたり約15分)

※面接開始から20分以上の遅刻は認めません

6. 試験会場

(地方試験会場案内図は12ページです)

	会 場 名	所 在 地	電 話 番 号
福 井 (本学)	福井工業大学 (福井キャンパス)	福井市学園3丁目6番1号	0120-291-780
東 京	AP日本橋	中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント 6F	03-3273-3109
大 阪	AP大阪梅田東	大阪市北区堂山町3-3 日本生命梅田ビル 5F	06-6362-6110

出 願 手 続

1. 出願書類

出願は、本学所定の出願用封筒を用い、簡易書留の速達で郵送または直接持参により行ってください。

(1) 出願書類を郵送する場合

- ① 簡易書留の速達でⅠ期：10月22日（水）、Ⅱ期：1月22日（木）（ともに締切日消印有効）までに郵送してください。
- ② 受験票は後日返送します。なお、出願後、試験日の3日前になっても受験票が返送されていない場合は、福井工業大学 入学センター 入試広報課までお問い合わせください。

(2) 出願書類を持参する場合

- ① 出願締切日までに福井工業大学 入学センター 入試広報課に出願書類を提出してください。受付時間は次のとおりです。
平日：9時～17時
(土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（令和7年12月26日(金)～令和8年1月5日(月)）を除く)
- ② 受験票は後日返送します。なお、出願後、試験日の3日前になっても受験票が返送されていない場合は、福井工業大学 入学センター 入試広報課までお問い合わせください。

出願先 〒910-8505 福井市学園3丁目6番1号 福井工業大学 入学センター 入試広報課
0120-291-780（フリーコール）

①入 学 志 願 票	本学所定の用紙。	
② 受験票・写真票・副票	本学所定の用紙。 写真票には、出願前3ヶ月以内に撮影した、上半身、脱帽正面向き、縦4cm×横3cmの写真（裏面に氏名を記載）を貼付。 副票には検定料払込受付証明書を貼付。	
③履 歴 書	本学所定の用紙。	
④ 最終出身学校の卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書	出願資格①ア	本国における最終出身学校（日本の高等学校に相当する学校）の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書 ※日本語以外の証明書は日本語訳を添付すること。
	出願資格①イ	国際バカロレア資格証書（写）及び最終試験の成績証明書
	出願資格①ウ	アビトゥーアの一般的大学入学資格証明書（写）
	出願資格①エ	バカロレア資格証書（写）及びバカロレア資格試験成績証明書
⑤ 最終出身学校の成績証明書	本国における最終出身学校（日本の高等学校に相当する学校）の在籍期間すべての成績証明書 ※日本語以外の証明書は日本語訳を添付すること。	
⑥ 日本留学試験の成績確認書	独立行政法人日本学生支援機構のEJUオンラインから印刷した成績確認書 ※令和7年6月または11月実施のいずれかの成績確認書を提出してください。	
⑦ 経 費 支 弁 書	本学所定の用紙 ※日本語以外で記入されている場合は、日本語訳を添付すること。 ※志願者本人は経費支弁者に該当しません。	
⑧ パスポートの写し	顔写真・氏名および旅券番号・発行年月日が記載されているページをA4サイズの用紙にコピーして提出してください。	
⑨ 在留カードの写し	顔写真・氏名および在留資格・在留期間が記載されている面をA4サイズの用紙にコピーして提出してください。	
⑩ 日本語教育機関の成績証明書（該当者のみ）	日本において日本語教育機関を修了した者および令和8年3月までに修了見込みの者は提出してください。 ※日本語教育機関とは、日本語学校、大学・短期大学の日本語別科、その他各種専門学校等をさします。	

⑪ 住 民 票	市区町村窓口で交付された原本を提出してください。 (志願者本人の国籍・在留資格・在留期間が記載されているもの)
⑫ アンケート用紙	合否には関係しませんが必ず提出してください。

2. 入学検定料

30,000 円

- ① 本学所定の振込用紙により金融機関または福井工業大学出納窓口で納入してください。
一部の金融機関においては、本学所定の振込依頼書を使用することができない場合があります。その場合、金融機関所定の振込依頼書を使用し、手続をしていただき、本学所定の振込依頼書の領収書および（志願票貼付用）検定料払込受付証明書に銀行日付印を押印したものを提出ください。
- ② 納入時に発行される「検定料払込受付証明書」に金融機関または本学の振込受付印が押印されていることを確認の上、副票の所定欄に貼付してください。

3. 出願上の注意

- ① 出願資格を満たさない場合および出願書類に不備がある場合は受理しません。
- ② 一旦提出された出願書類や入学検定料は返還しません。
- ③ 出願書類提出後の志望学部・学科および試験地の変更はできません。
- ④ 入学決定後においても出願書類等の記載が事実と相違することが発見された場合は、入学を取り消すことがあります。
- ⑤ 受験および就学に際して、特別な配慮が必要となる障害がある場合は、出願前に福井工業大学入学センター 入試広報課（フリーコール 0120-291-780）までご連絡ください。
※本学の入学試験において「障害がある」とは、「視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、内部障害および精神障害、発達障害等の障害があり、障害者手帳を有する、または、その他何らかの個別支援を要し、その旨を示す診断書等を有している状態」のことです。
- ⑥ 本学では、合否にかかわらず、出身日本語教育機関に入学試験の結果をお知らせします。各校にはデータの取り扱いに守秘をお願いし、利用の目的を「今後の進学指導上の資料」に限定し提供しています。

受験上の注意

1. 試験室の入退室

- (1) 試験日当日は、「受験上の注意」開始時間前までに受験者控室に入り、受験番号の席に着席してください。
- (2) 試験日当日受験票を必ず持参し、指定された席の机の上に提示してください。忘れた場合は、試験開始前に申し出てください。
- (3) 携帯電話・スマートフォンおよびこれに類するものは、受験者控室に入る前にアラーム設定を解除し、電源を切ってかばん等にしまってください。また、これらを時計の代わりとして使用することはできません。
- (4) 入退室の際は受験票を携帯してください。
- (5) 面接開始から20分以上の遅刻は原則認めません。ただし、試験当日の公共交通機関の事故、災害等やむを得ない事情により面接開始時刻に到着できない場合には、直ちに福井工業大学 入学センター 入試広報課(フリーコール 0120-291-780)まで連絡してください。
- (6) 面接試験が終了した人は、再び受験者控室には戻れません。
- (7) 上ばきは不要です。

2. その他

- (1) 前日に試験会場を下見する場合は、建物位置の確認のみで、受験者控室および試験室へは入れません。
- (2) 本学会場で受験する場合、受験時の宿泊として、本学に隣接する宿泊施設があります。試験会場まで徒歩約3分です。
詳細は次の宿泊施設まで直接お問い合わせください。

お問い合わせ先

福井アカデミアホテル 〒910-0034 福井市菅谷1-1-22
TEL 0776-29-1020 <http://www.fukui-academia.com/>

合格発表

1. 合格発表日

試験区分	合格発表日（本人宛通知）	試験区分	合格発表日（本人宛通知）
I 期	令和7年12月1日(月)	II 期	令和8年2月27日(金)

2. 発表方法

- ① 合格発表日に受験者全員に本学から合否通知書を入学志願票に記入された住所の本人宛に簡易書留の速達で郵送します。なお、合否通知書は発表日当日に発送しますので、地域により翌日以降の到着となります。
- ② 福井工業大学オンライン合否照会にて「合否確認」ができます。
下記の「福井工業大学オンライン合否照会について」を参照してください。
なお、福井工業大学オンライン合否照会による合否確認は受験生の便宜を考慮し、補助的な方法として通知するもので、本学から郵送する合否通知書をもって正式のものとしします。
- ③ 電話等による合否に関する問い合わせにはお応えできません。
- ④ 学内掲示は行いません。

福井工業大学オンライン合否照会について

「福井工業大学オンライン合否照会 (<https://exam-entry.52school.com/fukui-ut/result/rules>)」で、合格発表日の午前9時から3日間確認できます。各自でアクセスして、合否を確認してください。

1. オンライン合否照会には、携帯電話・スマートフォンとパソコンのどちらからでもアクセスできます。URLは共通です。
2. 午前9時前にアクセスした場合は、9時になっても（再度アクセスまたは更新をしないと）合否を確認できません。必ず午前9時以降にアクセスしてください。
また、サービス開始直後はつながりにくい状態になることが予想されます。
その場合はしばらく時間を置いてからアクセスしてください。

入 学 手 続

1. 入学手続方法

- (1) 合格者には合格通知書とともに「入学手続要項」を送付します。入学手続要項に従って、指定期日までに入学手続を完了してください。
- (2) 入学手続を完了した者には、3月に入学許可書を送付します。

2. 入学手続の必要書類

(1) 第1次手続

入学金を指定期日までに納入し、金融機関の振込受付印が押印された「入学金振込受付証明書」を第1次手続締切日までに福井工業大学 入学センター 入試広報課に提出してください。

(2) 第2次手続

次の①～⑨の書類を第2次手続締切日までに福井工業大学 入学センター 入試広報課に提出してください。

① 前期納入金振込受付証明書

前期学納金および委託徴収金を指定期日までに納入し、金融機関の振込受付印が押印された「前期納入金振込受付証明書」を提出してください。

② 身元保証書

保証人を、次の優先順位により届け出てください。(原則として独立して生計を営む方)

- 優先順位 …… ① 日本に在住する親またはその他の親族
② 日本に在住しない親またはその他の親族
③ ①、②ともにいない場合に限り、日本に在住する知人など

[提出書類] ●保証人が日本国内在住者の場合

身元保証書および住民票（外国人登録原票記載事項証明書）

●保証人が日本国外在住者の場合

身元保証書および保証人の住所・氏名が記載された公的機関が発行する証明書

③ 国内連絡先（該当者のみ）

保証人が日本国外在住者の場合、日本に在住し、次の役割を果たす人を「国内連絡先」により届け出てください。

- ① 在学中、留学生に諸問題が発生した場合には、本学と連絡を取り合うことが可能な人物。
- ② 本学から要請がある場合には、本人への連絡等適切に対応することが可能な人物。

国内連絡先の例： 日本に在住する兄弟姉妹、配偶者またはその他の親族、友人、知人など。できる限り社会人で独立して生計を営み、日本語能力が十分である者が望ましい。

④ 誓 約 書

⑤ 誓 約 書（付記）

⑥ カラー写真2枚

⑦ 学生証顔写真貼付台紙

⑧ 保護者台帳

⑨ 現在通っている学校の卒業(修了)証明書（日本語教育機関を含む）

卒業(修了)見込で受験した者は、卒業後すみやかに卒業(修了)証明書を提出してください。

3. 入学手続締切日

	第1次手続締切日（締切日消印有効）	第2次手続締切日（締切日消印有効）
I 期	令和8年1月8日(木)	令和8年1月8日(木)
II 期	令和8年3月13日(金)	令和8年3月13日(金)

4. 入学手続の注意事項

- (1) 指定期日までに入学手続を完了しない場合は入学を辞退したものと取り扱います。
- (2) 一旦提出された書類および納入された入学金は返還いたしませんのでご注意ください。詳細は「入学手続要項」を参照してください。
- (3) 第2次手続完了者のうち令和8年3月31日までに本学所定の用紙で入学辞退手続を完了した場合、入学金以外の納入金を返還します。郵送の場合必着です。
- (4) 必要書類がすべてそろっていない場合は受付できませんので、書類提出前に十分確認してください。

納 入 金

1. 初 年 度

工学部・環境学部・経営情報学部	種 別 \ 納 期	前 期 (入学手続時)		後 期 (12月)	年 額
		第1次手続時			
	入 学 金		250,000円	—	250,000円
	授 業 料	第2次手続時	485,000円	485,000円	970,000円
	設 備 充 実 費		130,000円	130,000円	260,000円
	実 験 実 習 費		50,000円	50,000円	100,000円
	厚生衛生費（冷暖房費含む）		15,000円	15,000円	30,000円
	合 計		930,000円	680,000円	1,610,000円

スポーツ健康科学部	種 別 \ 納 期	前 期 (入学手続時)		後 期 (12月)	年 額
		第1次手続時			
	入 学 金		250,000円	—	250,000円
	授 業 料	第2次手続時	460,000円	460,000円	920,000円
	設 備 充 実 費		140,000円	140,000円	280,000円
	実 験 実 習 費		50,000円	50,000円	100,000円
	厚生衛生費（冷暖房費含む）		15,000円	15,000円	30,000円
	合 計		915,000円	665,000円	1,580,000円

- ①上記の納入金以外に、委託徴収金（学友会費、後援会費等）として、36,130円が入学手続の第2次手続時に必要となります。※委託徴収金は内容および金額が変更となる場合があります。
- ②物価等の推移により学納金を改定する場合があります。
- ③金融機関の窓口で10万円を超える現金での振込みを行う場合、振込みを行う方の本人確認書類が必要となります。詳細は合格通知書同封の「入学手続要項」を参照してください。

2. 学費減免奨学金

学部私費外国人留学生選抜での入学予定者は、選考の上、学納金を減免します。（私費外国人留学生奨学金）詳細は11ページを参照してください。

私費外国人留学生に関する奨学金制度

1. 私費外国人留学生奨学金

学部私費外国人留学生選抜での入学予定者（「留学」の在留資格を有する留学生で、国費外国人留学生以外の者とする）もしくは本学の学部在籍する私費外国人留学生の初年度納入金について、経済的理由により就学が困難であり、本学での学習意欲を持つ者に対し選考により、**学納金の半額を減免します。**

年度末に学業成績等による継続審査を行います。継続条件を満たすことにより、次年度も学納金の半額を減免します。毎年度継続条件を満たせば、入学時から最大4年間の学納金を減免します。

《継続条件》 次のすべてを満たすことを要件とします。

- ①年間修得単位数30単位以上（3年修了時に96単位以上）
- ②担当教員又は指導教員との面談を每学期末に行った上で推薦を受けており、継続して学業を修める意思が確認できること。

（参考）**納入金**

初年度	福井工業大学通常額 入学金 250,000円 学納金 1,360,000円 ※工学部・環境学部・経営情報学部 合計 1,610,000円	年額 680,000円 を減免	入学金 250,000円 学納金 680,000円 ※工学部・環境学部・経営情報学部 合計 930,000円
	入学金 250,000円 学納金 1,330,000円 ※スポーツ健康科学部 合計 1,580,000円	年額 665,000円 を減免	入学金 250,000円 学納金 665,000円 ※スポーツ健康科学部 合計 915,000円
2年次以降	福井工業大学通常額 ※工学部・環境学部・経営情報学部 学納金 1,360,000円	年額 680,000円 を減免	学納金 680,000円
	※スポーツ健康科学部 学納金 1,330,000円	年額 665,000円 を減免	学納金 665,000円

2. 私費外国人留学生生活奨学金

本学学部在籍する学部1年次後期以上の私費外国人留学生の中から成績優秀者を奨学生として採用し、月額3万円を給費します。ただし、申請年度内のみ適用となります。

《選考基準》 次のすべてを満たすことを要件とします。

- ①前学期までの成績 GPA 評価 3.50 以上
- ②担当教員または指導教員から推薦を受けた者

お問い合わせ先

1. 日本留学試験について

独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課
〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 TEL 03-6407-7457 FAX 03-6407-7462

2. 福井工業大学入学試験について

福井工業大学 入学センター 入試広報課 TEL 0120-291-780（フリーコール）

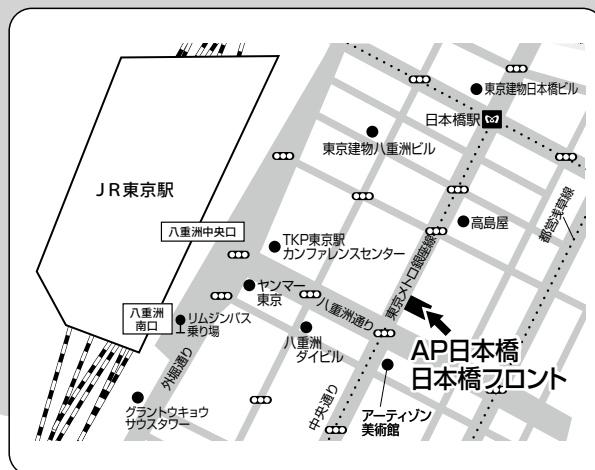
3. 福井工業大学奨学金制度について

福井工業大学 学務課 TEL 0776-29-7867

地方試験会場案内図

●本学会場は巻末に掲載

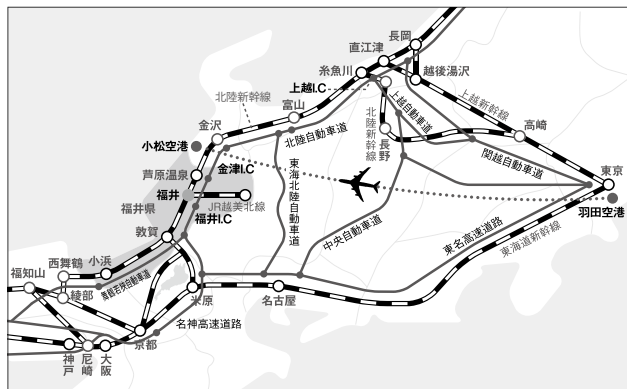
東京・AP日本橋 日本橋フロント 6F



大阪・AP大阪梅田東 日本生命梅田ビル 5F



ACCESS MAP



JR福井駅までの所要時間

- 東京から 北陸新幹線利用 約3時間
- 名古屋から JR新幹線・特急利用 約2時間
- 京都から JR新幹線・特急利用 約1時間半
- 大阪から JR新幹線・特急利用 約2時間
- 金沢から JR新幹線利用 約30分
- 富山から JR新幹線利用 約1時間
- 長野から JR新幹線利用 約2時間

CAMPUS MAP



福井キャンパス 〒910-8505 福井県福井市学園3丁目6番1号

- JR北陸新幹線・ハピラインふくい 福井駅下車
- JR福井駅西口バスターミナル3番のりば 12・18 学園線「福井高校前」下車、13 桜ヶ丘団地線「福井工業大学前」下車（所要時間約10分）



福井工業大学
Fukui University of Technology

〒910-8505 福井県福井市学園3丁目6番1号
TEL.0776-29-7871(直) FAX.0776-29-7866
E-mail kouhou@fukui-ut.ac.jp

[お問い合わせ先] 福井工業大学 入学センター 入試広報課

0120-291-780
フリーコール
<https://www.fukui-ut.ac.jp/>



福井工業大学は、公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、「本評価機構が定める大学評価基準に適合している」と認定されました。